

令和7年度

浜松市立西小学校コミュニティ・スクール

第4回学校運営協議会



令和8年2月12日（木） 13：30～

浜松市立西小学校 会議室

座席表

前

中谷 忠司委員 木村 祥基委員

福田 達樹委員

加藤 正寿委員

平出 慎一郎委員

山田 悟央委員

小粥 隆太郎委員

種茂 実予子委員
(学校支援コーディネーター)

県居
協働センター
後藤 伸宇

前田 みち子委員 三上 昌子委員

--	--

校長 教頭 教務
渡辺 浩司 佐野尚也 高橋真之

--	--

生徒指導主任 CSディレクター
古田 秀樹 國年 麻衣子

次 第

全体司会：教頭

開会 開催要件（委員の過半数の出席）確認

- 1 会長挨拶
- 2 校長挨拶
- 3 議長の選出（会長）
- 4 前回会議録の確認

5 熟議

議長：

学校経営に関する課題の把握と改善策について

- （１）学校関係者評価について（いじめ防止対策についての意見も含む）
- （２）西小学校運営協議会の自己評価について
- （３）令和８年度学校運営基本方針の概要説明

6 連絡事項

- 夢育やらまいかCS加算分の報告（教頭）
- 学校支援活動の進捗状況について（種茂）
- 運営協議会委員の退任及び、新委員の紹介（校長）
- 卒業式・入学式のご案内（教頭）
- ２月２５日（水）学校運営協議会委員研修会のお知らせ（教頭）
- 次回の日程について
令和８年度第１回 ５月８日（金）
- その他

閉会

1 令和7年度の取り組み

合言葉	にこにこ えがおで なかよくします
子供像	相手を思いやり誰もが気持ちよく過ごせるよう行動する子
指導の重点	(1)よい人間関係を築くための言葉を適切に使える。 (2)自分たちの生活は、自分たちでよりよくする。

しっかり かかわり かんがえます
人・もの・こととのかかわりから進んで学ぶ子
(1)学ぶ意義を知る。 (2)自分の考えをもってかかわる。 (3)かかわりを通して高まった自分に気付く。

のびのび げんきに かつどうします
自分の心と体を知り、健康・安全に気を付け、自己の向上を目指して活動する子
(1)体を動かす楽しさを味わい進んで運動に取り組む。 (2)けがや病気の無い、健康で安全な生活をする。 (3)自分の心と向き合い、自己の理解を深める。

こつこつ ねばりよく とりくみます
自分の思いや考えを持ち粘り強く頑張る子
(1)「何をしたいのか」「どうなりたいのか」という自分の思いを見つめ、その達成のために取り組む。

そう思う、だいたいそう思う	児童	保護者	職員
時や場を考慮して温かい言葉づかいをしている。	90.0%	89.1%	89.5%
自分の仕事ややるべきことを精一杯行っている。	93.6%	91.4%	100%
安心して学校に通い、楽しい学校生活を送っている。	94.6%	93.8%	100%
みんなが気持ちよく過ごせるように、相手の気持ちを考えながら行動している。	91.9%	91.3%	89.5%
自分の生活をよりよくするために、できることを考えたり、行動したりしている。	91.3%	83.0%	78.9%

そう思う、だいたいそう思う	児童	保護者	職員
よりよい自分になるために、進んで学習に取り組んでいる。	93.4%	77.4%	100%
タブレットを使った学習は、分かりやすい。	90.3%	90.7%	84.3%
タブレットを活用して学習をすると、自分の考えが広がったり深まったりする。	87.0%	85.4%	84.3%
友達と協力して物事を行うことは、楽しい。	96.1%	94.8%	100%
地域の方や外部の方から話を聞いたり、教えてもらったりすると学習がよく分かる。	92.8%	94.2%	100%

そう思う、だいたいそう思う	児童	保護者	職員
体を動かす楽しさを味わい、進んで運動に取り組んでいる。	92.5%	84.9%	100%
事故やけが、病気に気を付けて健康で安全な生活をしている。	94.9%	94.4%	84.3%

そう思う、だいたいそう思う	児童	保護者	職員
むずかしいことでもあきらめずねばり強く取り組んでいる。	90.4%	75.9%	78.9%
夢やめあてに向かって努力をしている。	92.1%	79.9%	94.7%
教師はお子さんががんばると褒めたり励ましたりしている。	92.7%	93.2%	94.7%

子供のじまん「3つのきれい」に対する評価

	児童	保護者	職員
「きれいな心」を意識し自分から進んで気持ちのよいあいさつをしている。	91.9%	83.5%	94.8%
「きれいな歌声」を意識し自分や友達の声を聞いてきれいな声で歌っている。	94.9%	92.2%	94.8%
「きれいな学校」を意識しそうじや整理整頓をして身の回りの環境を整えている。	94.0%	84.5%	84.2%

学校運営協議会による学校関係者評価

	児童	保護者	職員
「きれいな心」を意識し自分から進んで気持ちのよいあいさつをしている。	91.9%	83.5%	94.8%
「きれいな歌声」を意識し自分や友達の声を聞いてきれいな声で歌っている。	94.9%	92.2%	94.8%
「きれいな学校」を意識しそうじや整理整頓をして身の回りの環境を整えている。	94.0%	84.5%	84.2%

<分析・考察>

全体的に高評価の項目が多いことから、児童が安心感をもって生活していることや自分を肯定的に感じている児童が多いことが分かる。今後も一人一人のよさを認め、家庭・地域・学校と連携を図って教育活動を進めていきたい。

全国学力学習状況調査は、国語・算数・理科の平均正答率が、いずれも全国平均及び静岡県平均、浜松市平均を大きく上回り、基本的な学力が定着していると言える。これは、授業や家庭学習を通して、児童が主体的に学習に取り組める環境作りを継続して取り組んできている結果と言える。

㊦・「自分の生活をよりよくするために、できることを考えたり、行動したりしている」についての評価が昨年度と比較すると低下傾向にある。学習や行事の中でめあてや目標を立て、定期的に振り返る時間を設けることで、児童の主体性を育てていきたい。いじめに関することとしては、本校のいじめ防止基本方針の基、学校全体でいじめの未然防止に努めている。具体的には、学期に1回のいじめアンケートを基に、いじめの早期発見、早期対応ができるようにしている。そしてアンケートに書かれた内容について一人一人と面談を行い、継続的に見守っていくようにしている。その際、職員間の情報共有に時間がかかる場合があった。

㊧・「よりよい自分になるために、進んで学習に取り組んでいる」についての評価が児童、保護者、職員で差が見られた。また、全国学力学習状況調査の児童質問紙（意識調査）の「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」について肯定的に答えた児童の割合が全国平均を大きく下回った。学習している内容や活動がどのように社会に関わっていくかというイメージがもてるように、学習の導入やまとめで、社会とのつながりを意識した活動や話をするを通して学ぶ意欲やよさを生かしていこうとする意欲を高められるようにしていきたい。

㊨・運動会や新体力テスト、カードを活用した縄跳び、持久走など目標に向かって運動に取り組む児童が多い。持久走週間には、カード達成を目標に何十週もグラウンドを走る児童の姿が見られた。また、体力テストの結果は、前年度の同一学年と比較すると持久走、走力、跳躍力に課題が見られた。

㊩・夢や目標をもちながらも困難に対してあきらめずに粘り強く取り組む力が弱い傾向が見られる。学習や生活の目標を自分で決定する機会を設け、それに向かって努力したことを認め、価値付けを行っていきたい。

㊪・挨拶、歌声、清掃の3つを意識することが、落ち着いたのびやかな生活につながり、児童にとって西小の自慢となっている。今後ますます自分の学校に誇りを持ち、みんなでよりよい西小を創るという意識を高めていきたい。

児童・保護者・職員の意見

○よいところ

- ・素直で明るい子が多いところ。
- ・1年生から英語の授業があり、英語活動に力を入れているところ。
- ・上級生が下級生の面倒をしっかり見ていて、みんな仲がよいところ。
- ・縦割り活動を通して、他学年との交流があるところ。
- ・ホームページに学校の様子が載っていて、保護者が学校の様子を共有できるところ。
- ・地域と学校との距離が近く感じるところ。
- ・学校全体で子供たちを見ているという温かい雰囲気があるところ。

○今後実践するとよいこと

- ・学校生活を通して、児童が自ら考え行動する機会を設ける。
- ・異学年が交流したり、児童自ら企画・運営したりするイベントを実施する。
- ・地域の人や活動に関わる機会や地元についてもっと学べる機会を設定する。
- ・様々な職業の話など外部の方の講話を聞く時間を増やす。

これらに対して、委員の皆様からご意見をいただき、より効果的な改善方策を考えていきたいと思っております。よろしく願います。

今後の改善方策

- ・目標設定や振り返りを定期的実施し、生活をよくしようとする意識を高めていく。
- ・学級の裁量で行っていたいじめアンケートの聞き取りについて時間を設定し、十分な時間を確保する。
- ・いじめに関連した児童情報について、打合せ等を利用してできるだけ早く関係職員、支援員に伝え、全職員で声掛けができる体制を整える。
- ・進んで学習に取り組むことができるように、「子供が自ら課題解決するための学び方を選択できる単元構想」をテーマに学年団で研修を進め、授業改善を行う。
- ・児童が地域や社会とのつながりを実感できるよう、地域人材を活用したり、外部講師を招いたりして、専門知識や経験を児童に伝える機会を設ける。
- ・カードを活用した縄跳びや持久走などの運動の習慣化を図り、体力の向上に努めていく。

(様式1)

学校番号 (小・中 ○)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(西小) 学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- 学校評価アンケート結果の経年変化や児童・保護者・職員3者の評価に乖離が見られる部分の分析を進めることを通して、学校が抱える課題をより一層明確にし、改善策についての熟議を深めていく。
- 一部の方の厚意に頼ることなく、無理せず継続できる「応援団的組織」を構築していく。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

本年度の目標に沿い、分析資料を基に具体的な熟議テーマが提示され、意見交換が行われた。しかしながら、限られた時間の中では、意見の共有を図ったり、具体的な改善策をまとめたりするまでの熟議を深めることは難しかった。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

今年度から「西小応援団」として子供たちの成長を支える組織が構築され、活動の周知やボランティア数の充実、持続可能なものとしていくための課題について熟議した。話し合い形態として、委員を2グループに分けて話し合う機会を設けたが、意見の衝突がなくなってしまう熟議が深まらないという反省が残った。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った イ 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
(理由)

運営協議会終了後には、毎回、議会の協議結果を「CSだより」にまとめ、ホームページ上で公開することで情報発信を行った。今後は、このような情報を発信していることを学校だよりを通して周知することで効果を高めていきたい。

＜評価項目4＞ 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

- 「西小応援団」活動の内容と参画の拡充を図ることで、子供たちの学校生活の充実や学習の成果が実感できる活動を行っていく。
- 全教職員と運営協議会委員との話し合いの場を設けることを通して、本校が抱える課題をより一層明確にし、熟議テーマにつなげる。

学校運営協議会 年間計画

令和8年4月1日～令和9年3月31日

※ 委員の過半数の出席がないと開催できません。

※ 感染症の感染拡大防止等、状況により、開催が中止、あるいは延期になる場合があります。

回	日時・会場	主な内容 熟議のテーマ等	備考
1	令和8年 5月8日(金) 13:30～ 会議室	(1)学校運営の基本方針について ・説明 → 熟議 → 承認 (2)夢育やらまいか CS 加算分の意見書について	
2	令和8年 7月27日(月) 13:15～ 会議室	(1)学校の抱える課題と改善策について	※全職員参加
3	令和8年 11月26日(木) 13:30～ 会議室	(1)支援策の進捗状況について (2)特色ある学校づくりについて	
4	令和9年 2月10日(木) 13:30～ 会議室	(1)自己評価についての熟議 (2)学校関係者評価 ・学校の自己評価説明 ・改善策について熟議→次年度へ (3)夢育やらまいか CS 加算分の報告	